<u>Tomcat から MySQL を利用する方法</u>

OD 教室の Tomcat はどのパソコンを利用しても、同一の環境が再現できるように、ホームドライブに Tomcat の設定を保存している為、OD 教室では一般の PC 環境と違う仕組みとなります。

1 Tomcat

- 1.1 Tomcat の起動
- 1.2 Tomcat の停止
- 2 MySQL
 - 2.1 MySQLの起動
 - 2.2 MySQL の操作
 - 2.3 MySQLの停止
 - 2.4 TomcatとMySQLの連携

1 Tomcat

1.1 Tomcat の起動

① スタートメニューより、[Tomcat]⇒[TomcatStart]をクリックします。



② Tomcatが起動し、実行中ログが表示されることを確認します。

Tomcat	-		×
)7-Sep-2021 10:20:40.752 情報 [main] org.apache.catalina.startup.VersionLoggerListener.log コマンドライン	数:		-Dc ^
atalina.home=U:¥App¥apache=tomcat D7-Sep-2021 10:20:40.752 情報 [main] org.apache.catalina.startup.VersionLoggerListener.log コマンドラインを	数:		-Dj
ava.io.tmponu.#AppHabache-tomicatetemp)7-Sep-2021 10:20:40.798 情報 [main] org.apache.catalina.core.AprLifecycleListener.lifecycleEvent APRバーシ 使用してAPRベースのApache Tomoratネイティブライブラリリ1 2 301をロードしました	ジョン	[1.7.0)]を
)7-Sep-2021 10:20:40.798 情報[main] org.apache.catalina.core.AprLifecycleListener.lifecycleEvent APR機能: sendfile true]、受け入れフィルタ[false]、ランダム[true]、UDS [true]	IPv6	[t rue	e].
)7-Sep-2021 10:20:40.845 情報 [main] org.apache.catalina.core.AprLifecycleListener.initializeSSL OpenSSLは k 25 Mar 2021]を正常に初期化しました。	[Opens	SSL 1.	1.1
)7-Sep-2021 10:20:41.142 情報 [main] org.apache.coyote.AbstractProtocol.init ブロトコルハンドラ ["http-nio 化します。	-8080	"] をネ	初期
)7-Sep-2021 10:20:41.173 情報 [main] ors.apache.catalina.startup.Catalina.load サーバーの初期化 [716]ms)7-Sep-2021 10:20:41.251 情報 [main] ors.apache.catalina.core.StandardService.startInternal サービス [Cata ます	lina]	を起	励し
)7-Sep-2021 10:20:41.251 情報 [main] org.apache.catalina.core.StandardEngine.startInternal サーブレットエン Bache Tomcat/10 10]	バン	の起動	9 : C
77-Sep-2021 10:20:41.267 情報 [main] org.apache.catalina.startup.HostConfig.deployDirectory Webアブリケーシ トリ [II:¥wehapos¥docs] を配催します	ノョン	ディレ	ク
D7-Sep-2021 10:20:42,501 情報 [main] org.apache.jasper.servlet.TldScarner.scanJars 少なくとも1つのJARが、ま いないTLDについてスキャンされました。 スキャンしたが、そこにTLDが見つからなかったJARの完全なリストについて のデバッグログを有効にしてください。 スキャン中に不要なJARをスキップすると、起動時間とJSPのコンバイル時間が	ミだTLI は、こ が改善	〕を含/ 〔のロ〕 されま	んで ガー
。 7-Sep-2021 10:20:42.673 警告 [main] org.apache.catalina.util.SessionldGeneratorBase.createSecureRandom セ 主成するための SecureRandom インスタンスの作成に [141] ミリ秒かかりました。アルゴリズムは [SHA1PRNG] です。 J7-Sep-2021 10:20:42.704 情報 [main] org.apache.catalina.startup.HostConfig.deployDirectory ディレクトリ [コの Web マブリエージョンの感覚は11.427 m c 空空フレました	ッショ U:¥wel	iン IE pappsł)を fdoc
77-Sep-2021 10:20:42.704 情報[main] ors.apache.catalina.startup.HostConfig.deployDirectory Webアブリケーシ トリ [U:¥webapps¥examples] を配備します	ノョン	ディレ	·ク ・

③ [U:¥webapps]が、Tomcat用データの配置場所となります。

※もし、[U:¥webapps]フォルダーが無い場合は、[TomcatStart]から起動する際に、自動的に作成 されます。

- ④ ブラウザを起動し、以下のURLへアクセスします。
 http://localhost:8080
- ⑤ 以下ページが表示されることを確認します。



※プログラムを作成した場合は、データを配置した後、必要に応じて Tomcat 再起動 (スタートメニューから [TomcatStop]を実行後、[TomcatStart]を再実行) してください。

1.2 Tomcat の停止

① スタートメニューより、[Tomcat]⇒[TomcatStop]をクリックします。



2 MySQL

2.1 MySQLの起動

① スタートメニューより、[MySQL]⇒[MySQLStart]をクリックします。



② MySQLが起動し、実行中ログが表示されることを確認します。



2.2 MySQLの操作

① スタートメニューより、[MySQL]⇒[MySQL 8.0 Command Line Client]をクリックします。



② [MySQL 8.0 Command Line Client]のウィンドウが表示されます。

※パスワード無しでrootログインされます。



2.3 MySQLの停止

① スタートメニューより、[MySQL]⇒[MySQStop]をクリックします。





2.4 TomcatとMySQLの連携

① MySQLのJDBドライバは、以下のフォルダー内に配置されており、Tomcatから利用可能です。

C:¥App¥apache-tomcat¥lib

		a second a Des	0. II.014=		
- · T	« Арр	> apache-tomcat > lib V O	ン IIDU使業		
	^	名前	更新日時	種類	サイズ
A クイック アクセス		🔯 jasper-el.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	168 K
デスクトップ	*	🔯 jaspic-api.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	27 K
🕹 ダウンロード	1	🔯 jsp-api.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	63 K
🔮 U:¥	1	📳 mysql-connector-java-8.0.26.jar	2021/06/08 16:39	JAR ファイル	2,405 k
📰 ピクチャ	*	🔯 servlet-api.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	328 k
ConeDrive		🛅 tomcat-api.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	12 K
		🔯 tomcat-coyote.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	889 1
PC		🔯 tomcat-dbcp.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	317 k
3Dオブジェクト		🔯 tomcat-i18n-cs.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	67 k
🕮 U:¥		🔛 tomcat-i18n-de.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	73 k
		🔛 tomcat-i18n-es.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	101 K
-1-D(((C		[tomcat-i18n-fr.jar	2021/07/30 10:51	JAR ファイル	162 K

※接続文字列(例: jdbc:mysql://localhost:3306/dbname)等を環境に応じて作成し、使用して

ください。